

実践『ペルソナ』通信 (No.45)

「靴」に関する調査結果
～靴は落ち着いた色が人気～

実践女子大学人間社会学部・実践「ペルソナ」研究会は、実践女子大学生と他大学の学生を対象に、「靴」について調査を行いました。女子大生の靴に着目した写真観察調査（実践『ペルソナ』通信 Side-Be (No.45)）の結果をもとに、定量調査により実態を検証しました。有効回答者数は 126 サンプルでした。

※実践「ペルソナ」研究会は、実践女子大学人間社会学部における「統計科学（担当：竹内光悦）」、「経営学（担当：篠崎香織）」、「マーケティング（担当：斎藤明）」の3つの分野のゼミ生を中心に組織され、自分たちの消費活動、ライフスタイルをはじめ「実践女子大生が自分たち自身」を科学する研究会です。

総括

今回の調査を通して、靴はモノトーン系の落ち着いた色が人気であることが分かった。靴を買う際は、デザイン性と歩きやすさを重視する学生が多く、通学時に最もよく履くのはスニーカーという結果となった。また、通学時とそうでない時で靴を変える学生が多く、靴を変えておしゃれを楽しんでいると考えられる。大学生は年間で平均 3 足の靴を購入しており、1 足あたりの平均金額は 5,000 円前後という結果になった。また、ほとんどの大学生がスニーカーを持ち、スニーカーにはズボンスタイルが多いことが分かった。

調査結果のポイント

(1) 7 割以上がモノトーン系の靴を好む

大学生はモノトーン系の靴を履く人が最も多い。実践女子大生は、他大学の学生と比べるとモノトーン系の靴を履く学生が 10%ほど多いことが分かった。また、実践女子大生の寒色系と暖色系の人気に差はなかったが、他大生の方が寒色系の靴を好む傾向にあった。

(2) 靴を買うときは、デザイン性と歩きやすさを重視

実践女子大生、他大生どちらもデザイン性と歩きやすさを重視している結果になった。他大生と比較すると、実践女子大生の方が、デザイン性を重視する割合がやや高いということが分かった。

(3) 1 年間で平均 3 足購入する

実践女子大生がここ 1 年間で購入した靴の数は、平均で 3 足であった。他大生も同じく平均 3 足という結果となった。

(4) 1足あたり5,000円前後が平均価格

実践女子大生の靴1足あたりの平均購入金額は、「5,001円～7,000円」が半数を占め、次に「3,001円～5,000円」が続いた。一方、他大学の学生は、「3,001円～5,000円」が最も多く、次に「5,001円～7,000円」の人が多かった。他大学の学生の方が、安い靴を選ぶ人が多いが、共通して5,000円前後の靴を購入する傾向が見られた。

(5) 約7割の人がスニーカーで通学している

大学に行くとき最もよく履く靴は、実践女子大生も他大生も「スニーカー」と回答した人が最も多かった。スニーカーの次に人気だったのは、実践女子大生は「ヒール3cm以上のパンプス」で、他大生は「サンダル」という結果であった。

(6) 大学に行くときと行かないときで、靴を変える

大学に行くときと、それ以外の日（休日遊ぶときなど）で靴を変えるかという質問に対して、実践女子大生は「よく変える」と「たまに変える」と答えた人が合わせて6割を超え、他大学の学生は7割を超えた。靴選びにおいて、大学に行くかどうかのポイントの一つになっている。

(7) 靴下を見せる履き方をする人、しない人の数はだいたい同じ

あえて靴下を見せる履き方をするかについて「よくする」、「たまにする」と答えた実践女子大生は合わせて約6割、他大生は5割弱であった。このことから、靴を履く際に靴下までこだわっている学生と、そうでない学生がおおよそ半々であると分かった。

(8) スニーカー所有率は9割超え

実践女子大生も他大生も9割以上がスニーカーを持っていると回答し、ほとんどの大学生がスニーカーを持っていることが分かった。

(9) スニーカーにはズボンを合わせる

スニーカーを持っている人に、スニーカーを履く際にスカートとズボンのどちらのスタイルが多いかを聞くと、実践女子大生は8割以上の学生がズボン派であった。他大生の女生も6割がズボン派で、スニーカーに合わせるのはズボンが多いことが分かった。

調査結果について

〈調査概要〉

調査対象	大学1年～4年生（実践女子以外の大学生、専門学生含む）
調査方法	Google フォームによるインターネット調査
調査期間	2017年 8月18日～20日
有効回答者数	126人
回答者の属性	【性別】女性：84.1%、男性：15.9% 【所属】実践女子大学：33.3%、実践女子大学以外の大学：42.1%、 上記以外の学校（専門学校など）24.6%

〈本調査担当チーム〉

実践「ペルソナ」研究会

3年 岩佐英里奈、海辺美葉、安結実

(1) 7割以上がモノトーン系の靴を好む

実践女子大生は、持っている靴の色の系統について、83.3%の人が「モノトーン系」と回答し、最も多かった。「寒色系」と「暖色系」の人気に差はなかった。他大生も、実践女子大生と同じく「モノトーン系」が人気で70.2%を占め、次に「寒色系」が19.0%であった。共通して、落ち着いた色が人気だと考えられる(図1)。

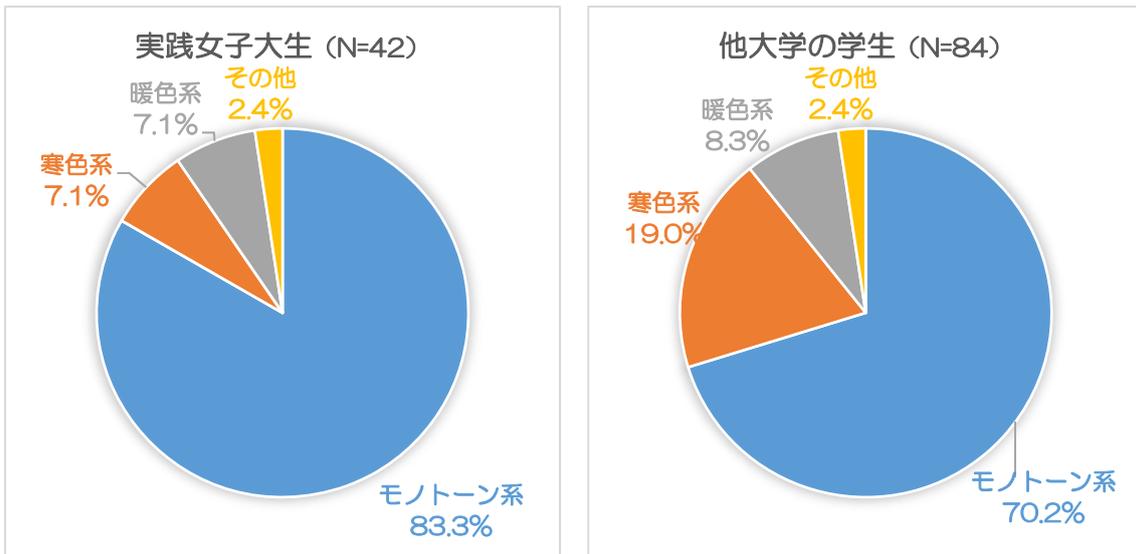


図1：持っている靴の系統

(2) 靴を買うときは、デザイン性と歩きやすさを重視

実践女子大生が、靴を買うときに最も気にかけている点について、「デザイン」と回答した人が50.0%と最も多かった。次に多かった回答は「歩きやすさ」で35.7%であった。他大生も、重視する点はほとんど同じであり、やや「値段」を重視する人が多かった(図2)。

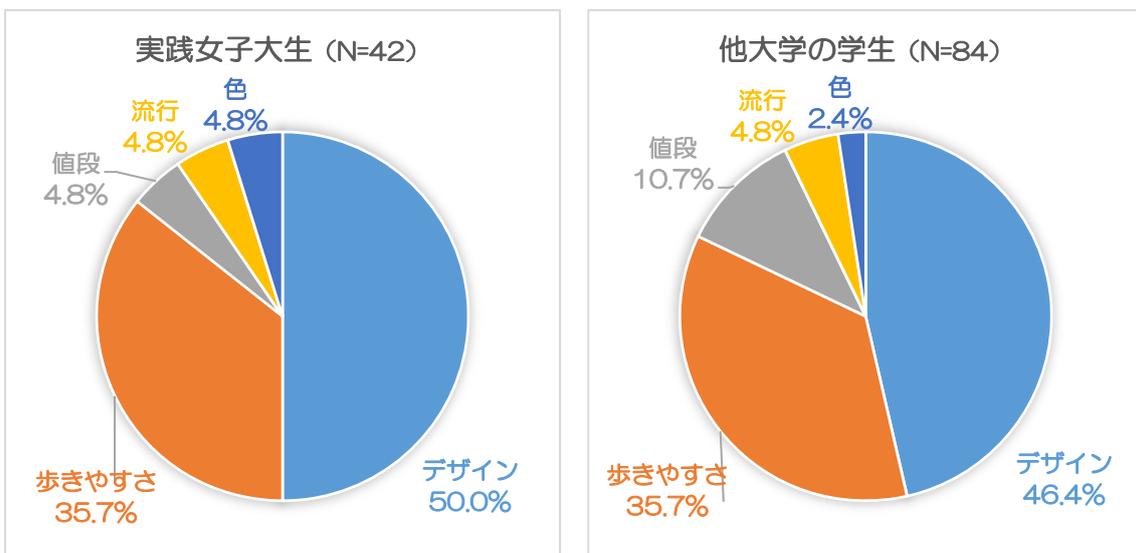


図2：靴を買うときに気にかけること

(3) 1年間で平均3足購入する

実践女子大生がここ1年間で購入した靴の数は、「3足」と回答した人が42人中17人と最も多く、続いて「2足」であった。他大生も「3足」と回答した人が84人中27人と最も多かった。大学生が1年間で購入する靴の数は、3足前後である(図3)。

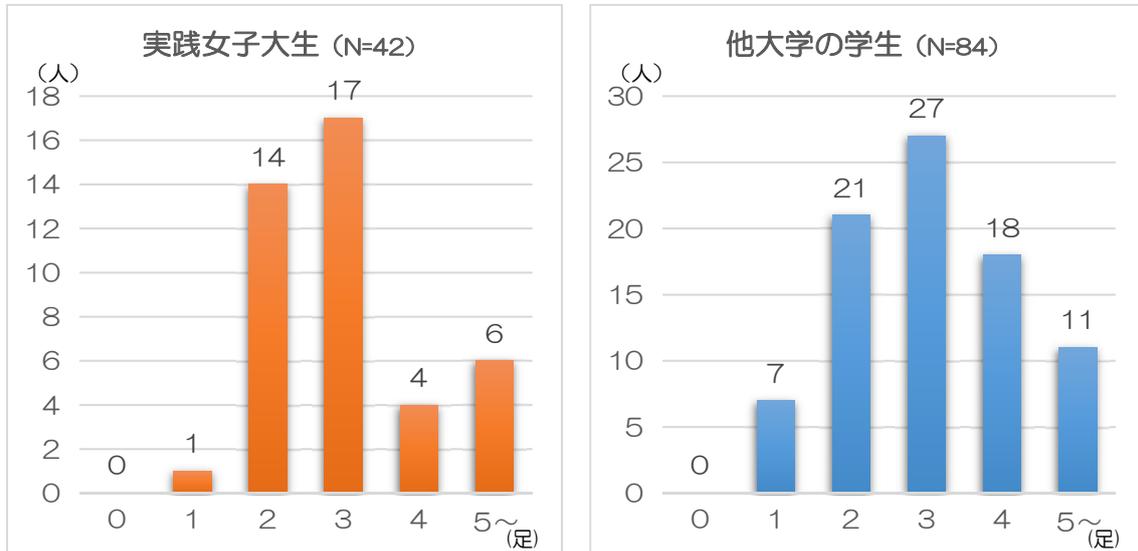


図3：1年間で購入した靴の数

(4) 1足あたり5,000円前後が平均価格

実践女子大生の靴1足あたりの平均購入金額は、「5,001円~7,000円」が42人中21人と半数を占め、次に「3,001円~5,000円」が続いた。一方、他大生は、「3,001円~5,000円」が84人中27人と最も多く、次に「5,001円~7,000円」の人が多かった。他大学の学生の方が、安い靴を選ぶ人が多いが、どちらも5,000円前後の靴を購入する傾向が見られた(図4)。

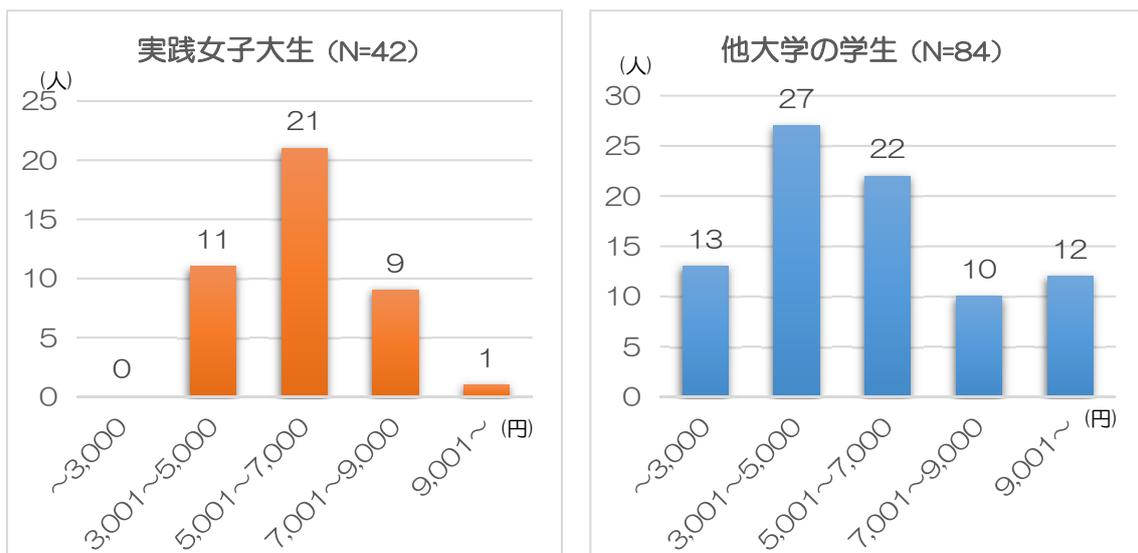


図4：靴1足あたりの平均購入額

(5) 約7割の人がスニーカーで通学している

年間を通して、大学に行くとき最もよく履く靴を尋ねたところ、実践女子大生の71.4%の人が「スニーカー」と回答した。他大生も、同じく7割近くの人がスニーカーで通学すると分かった。スニーカーの次に人気だったのは、実践女子大生は「ヒール3cm以上のパンプス」が14.3%で、女子大ならではの回答と考えられる。一方、他大生は「サンダル」で16.6%であった(図5)。

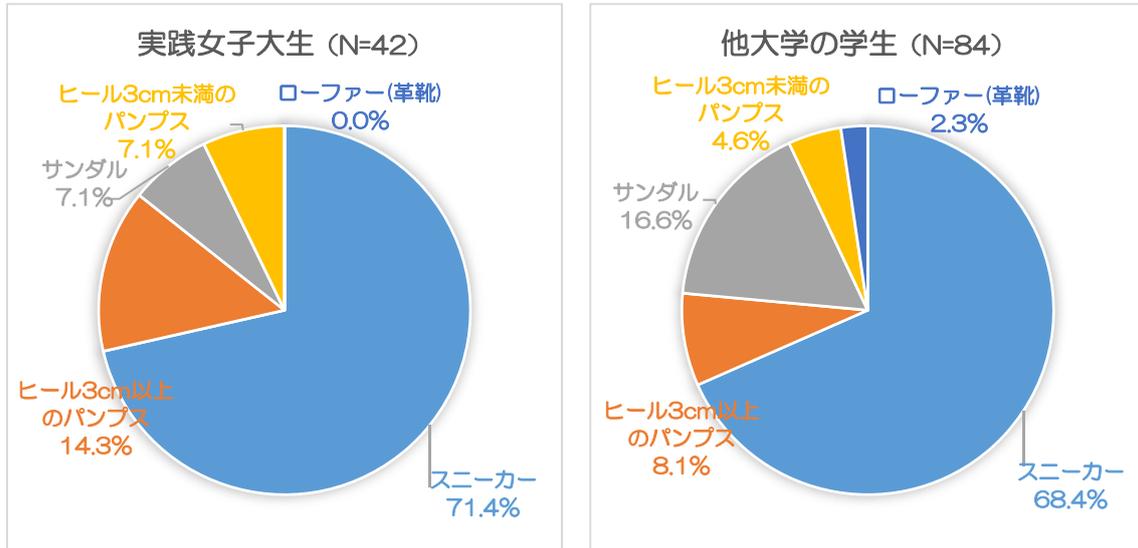


図5：通学時に最もよく履く靴

(6) 大学に行くときと行かないときで、靴を変える

大学に行くときと、それ以外の日(休日遊ぶときなど)で靴を変えるかという質問に対して、実践女子大生は「よく変える」と「たまに変える」と答えた人が合わせて6割を超え、他大生は7割を超えた。靴選びにおいて、大学に行くかどうかのポイントの一つになっている(図6)。

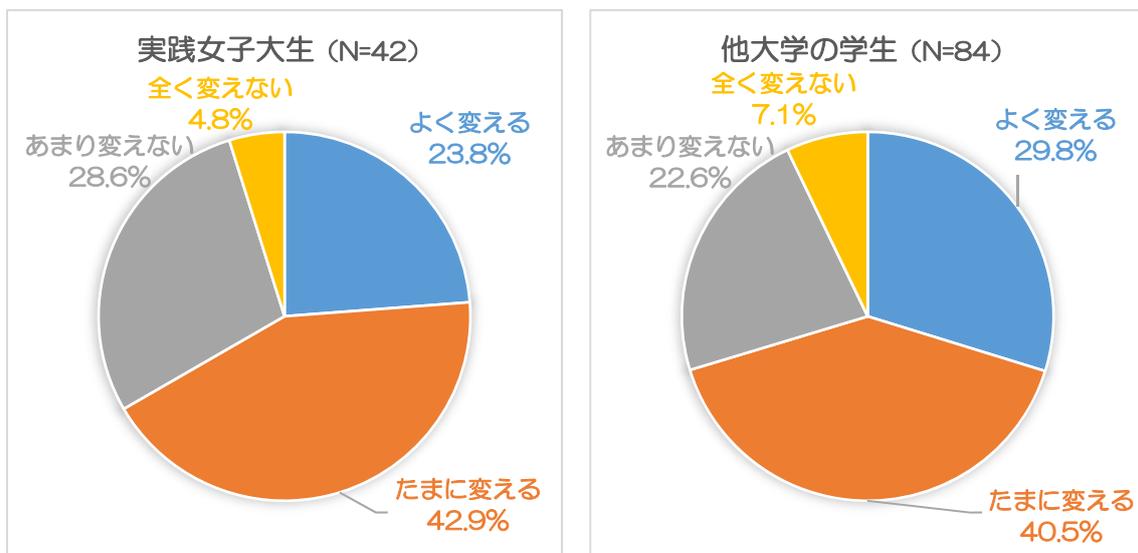


図6：大学に行くときとそれ以外で靴を変えるか

(7) 靴下を見せる履き方をする人、しない人の数はだいたい同じ

あえて靴下を見せる履き方をするかについて「よくする」、「たまにする」と答えた実践女子大生は合わせて57.1%であった。他大生は、47.7%が靴下を見せる履き方をする回答した。このことから、靴を履く際に靴下までこだわっている学生と、そうでない学生がおよそ半々であることが分かった(図7)。

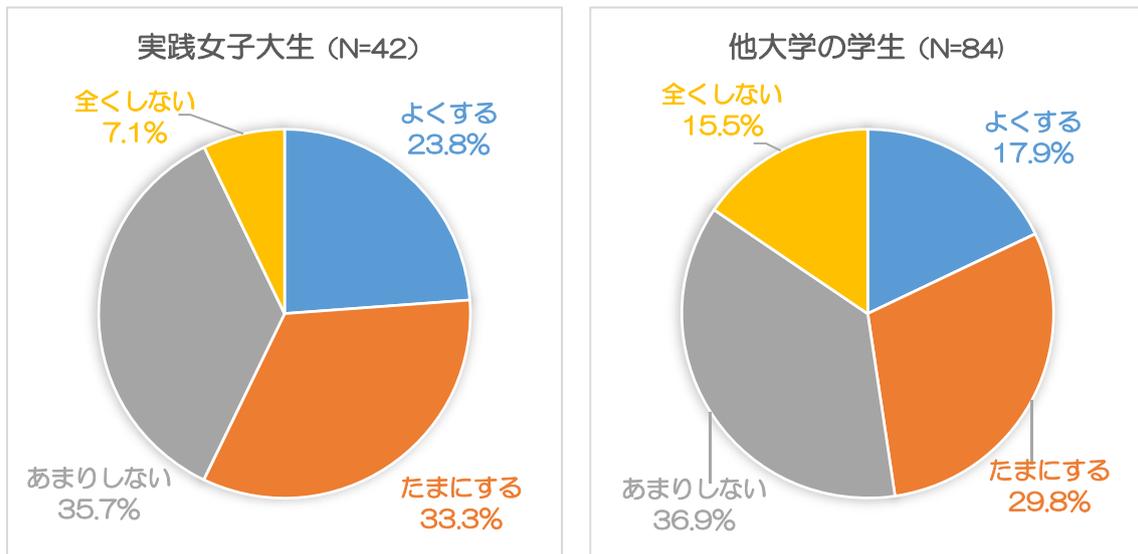


図7：靴下をあえて見せる履き方をするか

(8) スニーカー所有率は9割超え

実践女子大生も他大生も9割以上がスニーカーを持っていると回答し、ほとんどの大学生がスニーカーを持っていることが分かった(図8)。

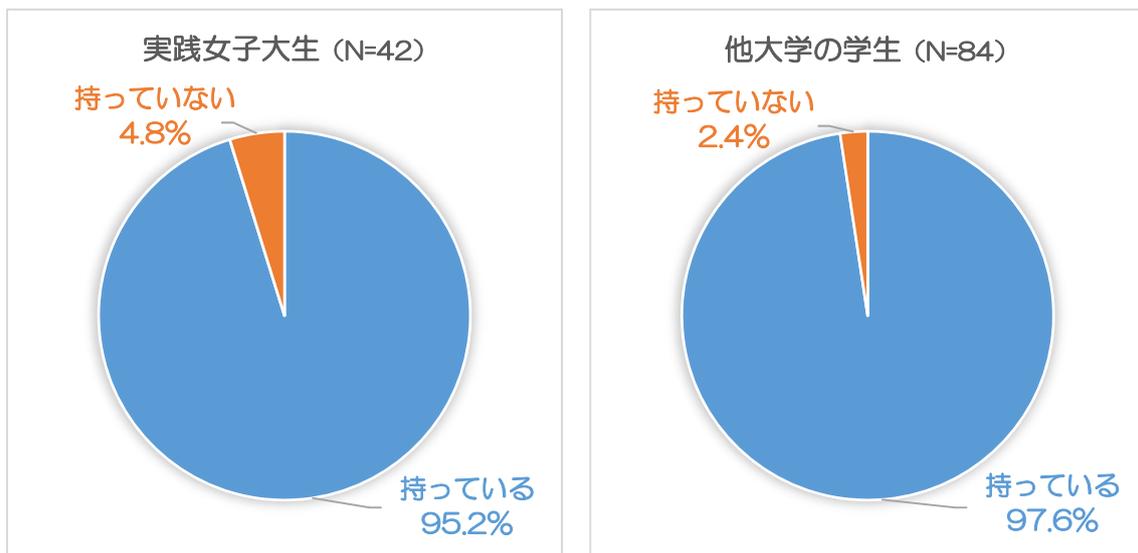


図8：スニーカーを持っているか

(9) スニーカーにはズボンを合わせる

スニーカーを持っている人に、スニーカーを履く際にスカートとズボンのどちらのスタイルが多いかを聞くと、実践女子大生は85%の学生がズボン派であった。他大生の女子も同じく62.2%で、ズボン派が多かった。女子大生はスニーカーに合わせるのはスカートよりも、ズボンを好む学生が多いことが分かった(図9)。

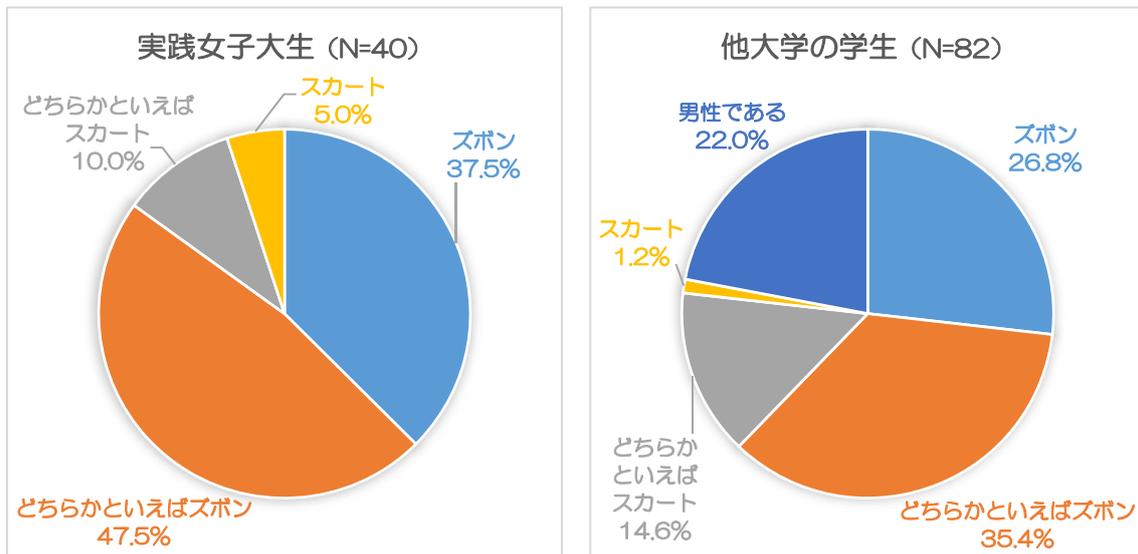


図9：スニーカーのとき、ズボンとスカートどちらのスタイルが多いか

今後のトレンドについて

今回の調査結果をもとに、今後大学生にどのような靴が流行するか考えてみた。現在どんな服装にも合わせやすい、モノトーン系の靴を履く学生が多く、定番となっている。引き続きモノトーンは人気だと考えられるが、これから秋冬になるので、寒色系をもっと売り出してもよいと考える。例えばネイビーなど、コーディネートがしやすい落ち着いた色ならば、購入する人も多いと予想する。

靴下をあえて見せる履き方をする人が約半数いること、またスニーカーにはズボンとコーディネートする割合が高いことから、靴下を見せやすく、ズボンにも合わせやすいローカットの靴が好まれると考えられる。ローカットの靴と、それに合わせやすい靴下をセット販売すれば、購買意欲もより高まるだろう。